

台風被害の神門の工事が始まる



浜松市天竜区の秋葉山本宮秋葉神社様で神門保存修理工事の起工式及び安全祈願祭が行われました。二年前の平成三〇年に台風二四号が上陸し大きな被害をもたらし、数日に及ぶ停電をしたことも記憶に新しいと思いますが、この台風で杉の大木が倒れ神門の屋根の一部がかなり破損してしまいました。そしてその際に木の重さで神門全体が歪んで傾いてしまったため、全解体修理の必要性を秋葉神社様へ提案させていただきました。

この神門は浜松市指定有形文化財であり、立川流二代目 立川富昌によって文政年間（一戸平家建、軒の出が深くどっしりした丸柱の建物です。今後三年に渡る「令和の大修理工事」は始まりましたが、弊社の技術を発揮し安全第一に工事を進めていきます。

上品で美しい須弥壇の完成

御前崎市の閑田院様（曹洞宗）からご注文いただいた須弥壇がこの度完成いたしました。自然乾燥した在庫の樺材を使用し摺り漆を施し、弊社の熟練した宮大工の手により製作し、期間は約半年ほどかかりました。これまでの須弥壇は経年劣化が進み虫に食われていたところもあつたため、ご注文は以前から新しい須弥壇を考えたいらつしやいました。ご注文の希望を伺いながら、弊社の担当者と打合せをし、格狭間の中心に本山の紋と寺紋を入れた落ち着いたデザインに決まりました。

須弥壇の設置工事は解体に一日、設置に二日ほどかかりましたが、作業場で一度仮組をしているため順調に進めることができました。これからこの須弥壇は閑田院様の繁栄と安寧を見守り続けていくことしましょう。

